

平成28年度運動部新入部員激励会 激励のことば

校長 中村 勝年

皆さん、こんにちは。

新入部員の皆さん、津名高校運動部に入部して二か月が経とうとしています。各部とも淡路地区総合体育大会も終わり、県の総合体育大会に向け、頑張っていることと思います。また、また惜しくも涙を吞んだ人たちには、次回の大会に向けての健闘を祈っています。

私も淡路地区の総体にはほとんどの会場に立ち寄り、津名高生の活躍を見させてもらいました。高校生らしい清々しい真剣なプレイにあらためて感動をもらいました。

今日は、新入部員の皆さんに、これからの三年間で身につけてほしい三つの力についてのお話をしたいと思います。

部活動、特に運動部では人生にとってかけがえのないものを得ることができます。

第一は、規律を守り、人と協力をする事の大切さを学ぶことができます。チームメイトと力を合わせ、指導者との信頼関係を深め、支えてもらっている家族の人への感謝、そのような一つひとつが将来への財産となります。アメリカの国務長官を務めたコリンパウエルという人は「規律と人への尊敬があれば、十八週間で技術を身につけることができる」と述べています。どうか皆さんには、ベースとなるそのような力を部活動で培ってもらえばと思います。

第二は、自発性の回路です。

部活動を一生懸命やってきた生徒が受験前にながむしやりに勉強して飛躍的に成績を伸ばすケースがあります。

部活動で培った自発性の回路をA、勉強の回路をBとすると、この時、勉強の成果はA×Bで表されることが知られています。脳科学ではカップリングと言われています。

自発性という優れた回路Aが一つあると、それを様々な目的に応用することができるのです。

どうか皆さんには、部活動で、自発的に前に出て行動する力を磨いてください。そのような力は勉強でも、仕事でも、将来のどのようなことにでも役に立つと思います。

第三は、困難に打ち勝つ力です。最近の企業で、新人社員に1週間の冬山研修を課しているところがあります。チームで互いに助け合って困難に力を合わせて立ち向かう力が社会で求められているのです。

皆さんには、部活動では、チームで協力して、お互いに支えあって、困難を乗り越える力を身に付けてほしいと思います。

以上、皆さんが運動部に入部するにあたって、三つの力を身につけてほしいというお話をしました。これらの力は、一生の宝となると思います。今後の皆さんの健闘を祈り、私の激励のことばとします。